

# 兵庫県のみ漁場環境情報 (鹿ノ瀬海域 11号)

季節風による時化が続いた直後の調査でした。この海域中央部から南の調査地点にかけて窒素は $3 \mu\text{g at} / \text{L}$ 前後でしたが、北の調査地点においては $1 \mu\text{g at} / \text{L}$ 台と低い値でした。一部を除きこの海域全般に、珪藻は今のところ少ない状況ですが、播磨灘の北部沿岸域において再びユーカンピアが増加傾向にありますので、今後の海況には注意が必要です。

(水温) 漁場平均 $7.2^{\circ}\text{C}$ 。平年比 $1.9^{\circ}\text{C}$ 、昨年比 $2.7^{\circ}\text{C}$ ともに低い。(塩分) 平均 $32.02\text{psu}$ 。前回(31.81)より約 $0.2\text{psu}$ 高い。

(栄養塩、珪藻) 明石海峡部周辺海域の窒素は $3\sim 4 \mu\text{g at} / \text{L}$ 台であった。この海域中央部から沖にかけては、珪藻がほとんど確認されず窒素は $3 \mu\text{g at} / \text{L}$ 前後の値であった。一方、地先に向けた北の調査地点ではユーカンピアが散見されており、海水 $1\text{ml}$ あたり50細胞までと今のところ少ない状況ではあるが、窒素は低い値となっている。暫くの間、珪藻の発生量が少なく栄養塩は漸減傾向にあったが、今後はユーカンピアの消費による更なる減少の可能性も考えられる。

	前回値	今回値	平年値	昨年値
水温	8.3	7.2	9.1	9.9
窒素	2.5	2.2	1.9	0.7
リン	0.41	0.41	0.36	0.25

(1/31) (2/9)

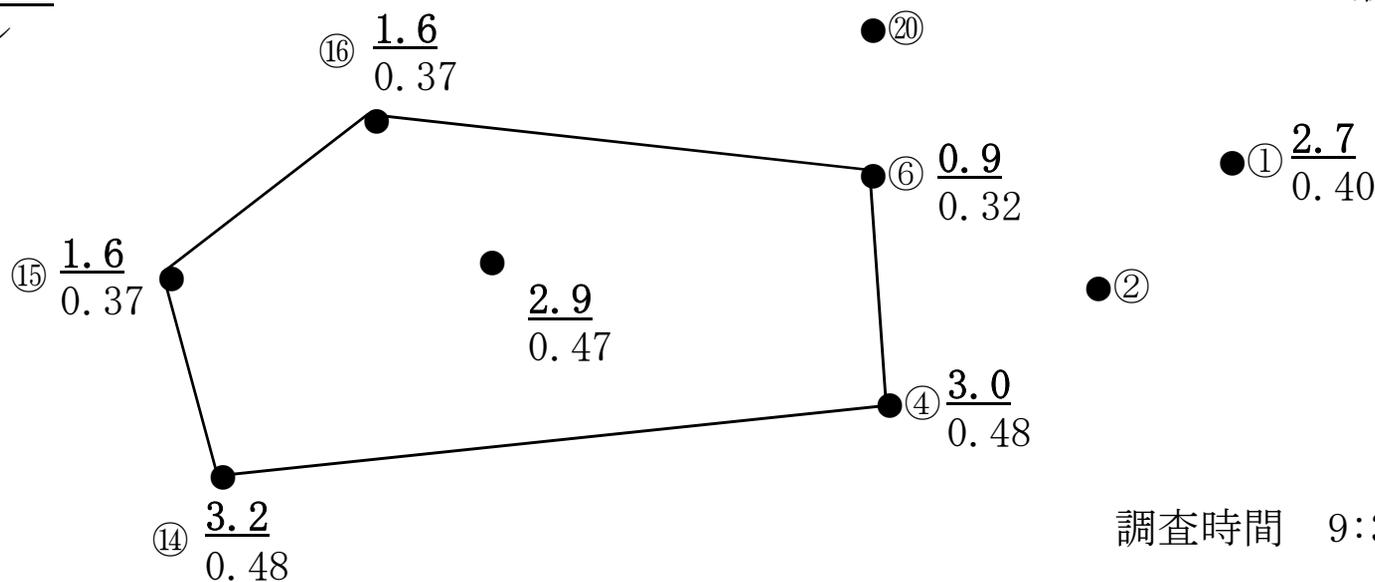
平成30年2月8日調査

## 栄養塩図

潮：下げ潮

窒素

リン



調査時間 9:35~10:26

(カンタマ① 7:35)

## 水温・塩分図

水温

塩分

